

ワンポイント会計基準

vol.340 新規上場時の会計不正事例を踏まえた IPO 関係者の対応について

最近の新規上場会社等の会計不正事例の発生を受け、日本公認会計士協会のほか、日本取引所グループ（東京証券取引所、日本取引所自主規制法人）及び日本証券業協会においても、新規上場時の会計不正事例を踏まえた対応策が検討されてきました。これらの対応策を踏まえ、2026年3月27日に日本公認会計士協会から、IPO関係者の対応策を取りまとめた資料が公表されました。今回はこの対応策をご紹介します。

1. 会計不正事例を踏まえた不正リスク対応

(1) 循環取引等の発生リスクを踏まえた対応

- ・代理店の利用率が高い場合の実質的な仕入先・販売先の確認
- ・必要に応じて実質的な仕入先・販売先への直接確認の実施
- ・広告宣伝の状況の確認

(2) 上場準備期間中の監査法人交代等への対応

- ・監査法人交代発生時の上場準備会社及び前任監査法人への交代経緯確認
- ・上記対応の実効性確保に向けた守秘義務解除等の環境整備
- ・主幹事証券会社交代時の前任への交代経緯確認

(3) その他不正リスクへの対応

- ・AI等の新技術を扱う会社の監査を行う場合の監査体制の点検
- ・経営者の資質や上場準備会社の対応等に関して審査対応に懸念が想起される場合の確認

2. 不正リスクに関する情報収集・連携

(1) 内部通報体制の整備状況の確認

- ・経営陣から独立した通報窓口の設置状況の確認
- ・通報者保護等の通報窓口を有効に機能させるための環境整備状況の確認

(2) 不正情報の収集・連携

- ・ 上場準備会社役員に対する取引所通報窓口の周知及び周知状況の確認等
- ・ 受領した情報の関係者への円滑な連携に向けた環境整備
- ・ 把握した違法行為の規制当局への報告実施に関する周知

3. 上場準備会社役員に対する啓発等の取組み

(1) 経営陣に対する啓発活動の実施

- ・ 上場準備会社の経営陣に対して上場の責任（誠実性・不正防止）に関する啓発活動を実施

(2) 独立役員に対する不正防止体制等の評価確認

- ・ 上場準備会社の独立役員に対して不正防止に向けた体制整備・運用状況の評価を確認

4. 不正リスクに関する審査・監査能力の向上

(1) 取引所の上場審査能力向上に向けた取組み

- ・ 不正リスクに関する研修の充実、審査体制の拡充
- ・ 情報収集・分析能力の向上に向けた AI 活用等の取組み
- ・ 自主規制法人内での機動的な情報連携の徹底

(2) 証券会社の引受審査機能の発揮に向けた取組み

- ・ 「新規上場時の会計不正事例を踏まえた引受審査に関するガイドライン」の策定
- ・ 主幹事証券会社の上場適格性調査体制・引受審査体制に留意した考査・監査の実施

(3) 監査の信頼性向上に向けた取組み

- ・ 登録上場会社等監査人に対するモニタリングの強化
- ・ 研修等を通じた会計士の資質向上
- ・ 中小監査事務所連絡協議会を通じた支援策
- ・ 登録上場会社等監査人の要件引上げの検討

以上